



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2015～2016 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「外に発信 内に達成感 さあ行動しよう！」



◆会長 大保木 正博 ◆幹事 坂之上 健一 ◆会報委員長 谷口 欣也 ◆会報担当 村瀬 祐治

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacr.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1087 回	57 名	56 名	43 名	—	76.79%
前々回 1085 回	57 名	56 名	46 名	5 名	91.07%

<点 鐘>

会長 大保木 正博

<ロータリーソング>

我等の生業

<会長の時間>

会長 大保木 正博

先週土曜日に岐阜県弁護士会の会長他役員披露宴に参加してきました。岐阜県弁護士会が変わろうとされていると感じられました。一般的には敷居が高いと感じられている業界ですが、新会長のご挨拶の中で、「弁護士会・弁護士をより身近な存在に」という考えをもって会長として取り組むと述べられました。

また多様な面で行政、福祉関係機関並びに隣接他土業等の関係諸団体連携を図り、より一層の社会貢献に努めたいとのことをお考えを述べられました。

かつて 20 世紀が終わろうとしている時、21 世紀の企業に求められるものとして、社会貢献があげられ、そうした考えを持った企業でなければ 21 世紀は乗り越えられないと予想されていましたが、今の社会を見るに十分納得ができます。そうした中で岐阜県の弁護士会も特に身近な存在として社会貢献をされるということで、大変素晴らしいお考えと感銘しました。

私達ロータリーも大きな変化の中にあって、変えてはいけないもの『越我の奉仕』、『奉仕の理念』、『職業奉仕の精神』をしっかりと守りつつ、大きな社会の変化にも適応して時流に乗った行動をしていくことが大切な時と思います。

私たち高山中央 RC は特に青少年育成・奉仕に力を入れています。現在、青少年育成に関する継続事業である中学校出前講座の次期計画を行う時期に入っていますが、昨年度からは出前講座を行うにあたり私たちのクラブのみならず地域の他の奉仕団体及び高山市教育委員会と協働した新しい形として『キャリア教育を考える会』を創出し、これを実施母体として出前講座を実施しました。この活動は地域を巻き込んだ新しいロータリーの奉仕活動として評価されるものです。

今後もロータリーの『不易と流行』を実践してまいります。

<幹事報告>

幹事 坂之上 健一

◎RI 本部より

・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・ロータリーレートのお知らせ

5 月 1\$=110 円

・「ガバナーナイト in ソウル」開催時間変更の連絡
・バギオ日より 5 月号

<高山市図書館より>

・寄贈のお礼(里岡美津奈書 19 冊)

<今日のプログラム>

青少年奉仕委員会

中田 学 委員長

平成 27 年 7 月 15 日に実施した中山中学校での「出前講座」についてご報告します。

2 年生 174 名を 15 グループ(1 グループ 10~12 名)に分け実施しました。

感想として、1 グループは、5~6 名程度が望ましいと感じる。そのため今回のような生徒数の場合 30 名前後の講師が必要であり、今後の課題とする。

受講生徒からのお礼の手紙より

- ・子供たちが自身の住む高山を見つめ直すきっかけとなっている。
- ・「出前講座」を受けて、職場体験学習への取り組み意欲に変化がある。職場体験学習とセットプログラムとして理解できる。
- ・将来の仕事を考えるきっかけであり、視野を広げることのお手伝いが出来ている。

などの感想をいただいております。

では、講師として参加いただいた井ノ下さん、熊崎さん、また、次年度、青少年奉仕委員会委員長の下田さんにお話しさせていただきます。

「出前講座」実施報告

井ノ下 雄志

出前講座(キャリア教育)に参加は、今回で 2 回目となります。

1 回目は、高山商工会議所青年部会として参加させて頂きました。その際は莊川中学校にお邪魔させて頂きました。全生徒 39 名



受講と少なかったですが、生徒さんは人懐っこく純粋な生徒さんばかりでした。当初参加のきっかけは子供達、地域貢献の為と聞いていましたが、参加してみると自身の仕事に対して改めて考える良い機会となりました。

そのような実感を持っていた事もあり、ロータリー事務局から出前講座の案内が来てすぐに「参加」の返答をさせて頂きました。

今回中山中学校が対象校、私の母校であり卒業以来で訪れました。私が通っていた時よりも校内は改装され綺麗になっていました。

荘川中学校と比べて生徒数が多く、雰囲気は違っていました。分科会は、高原建設の高原社長とペアーの2人担当だったので、安心して臨むことが出来ました。我々が受け持った生徒さんのほとんどが、将来なりたい職業が決まっており、残念ながらその中にはサービス業(ホテルマン希望者)はいませんでした。

私はホテルの仕事内容の他に、仕事に対する自身の考え方として、どんな仕事も辛い事が付き物、時には怒られることもあり世の中に楽な仕事はない事。しかしどんな仕事/職種も必要とされている事。一生懸命に仕事すると、『ありがとう』と言ってもらえる事、そして最後に自身の経験から、学生時代は勉強も大事だけど、部活を一生懸命に取り組む事と大いに友達と遊んで素直に成長してもらいたいとお伝えさせて頂きました。

熊崎 元康

「中2病」という言葉をご存知でしょうか。思春期特有の感情が敏感(不安定)になる時期の事を指している言葉です。私は、中学2年生という時期に「出前講座」を行う事が、とても良いと感じています。この時期の子供達にとって、保護者や学校関係者以外の大人と接する機会は多くありません。その数少ない機会が「出前講座」であり、お互いの考えや思いが伝えられる良い機会である事に間違いのないと思います。今後も続けられることを希望し報告といたします。



下田 徳彦

これまで出前講座にご協力いただき、ありがとうございます。早いもので出前講座は今年で7年目、これまで当クラブで11回実施しました。そして「キャリア教育を考える会」が発足して、その運営のもと出前講座の活動がはじまり3年目を迎え、本当に出前講座の必要性を通説に感じています。また次年度は地区の委員長の大使もいただき、さらに「出前講座の普及」を進めていきたいと思っています。



年々学校側の要望が増え、一昨年5校、昨年度6校を実施し、今年7校で実施の予定で毎年500名以上の生徒を対象に実施されています。キャリア教育を考える会の体制も年々強固になり、これまで課題であったマンモス校への対応も他団体との協力体制で可能になりました。そして高山市教育委員会の長期教育プロジェクトにおいてキャリア教育の重要性を掲げ、「出前講座」を年間プログラムに取り入れ、今後は全中学校で実施したい意向があります。先週刃田ガバナーエレクトが言われた「ロータリークラブは地域社会の縮図」という表現を私も同感に思います。不測の事態に直面した時、困った時にそれに対応するメンバーがクラブ内にみえ、メンバーの数(50以上)の職種が色んな形で機能することがロータリークラブの特長です。私はそれを発信することが重要であると考え、中学生へ「出前講座」という形で発信することが、将来必ず地域貢献につながると思っています。また中学生の職業選択の幅は狭いので、一つでも多くの職業を知ってもらうことで選択肢が広がります。具体的事例の紹介で個人的な話になりますが、弊社では、毎年秋に飛騨高山高校で開催される「地元企業との交流会」にここ2年連続して参加しています。自社の取り組みや働くことの意義などを話す出前授業になっています。なんとそこで私が担当したクラスの一人が今年の新入社員として入社しました。出前講座での出会いがなければ弊社の事も何も知らずに済んでしまったことで、この事実は起きなかったことです。発信した事で、知ってもらい、興味をもち、入社につながりました。ほんの一例で出てくると思います。

最後にご案内になりますが、6月10日(前倒し事業)の出前講座では15名程度の講師が必要です。なにとぞご協力をお願いします。

<5月のお祝い>

<会員誕生日>

新宮 一郎	S 29年	5月 6日
高橋 厚生	S 49年	5月 20日
島 良明	S 24年	5月 26日
道下 利一	S 41年	5月 28日



<夫人誕生日>

永田 富次	紀子	5月 1日
堀口 裕之	潤子	5月 30日

<結婚記念日>

岩垣津 亘	S 53年	5月 8日
中田 専太郎	S 58年	5月 21日
高橋 厚生	H 15年	5月 24日
松之本 映一	S 54年	5月 26日

おめでとうございます

<ニコニコBOX>

ニコニコ久しぶりです。

高原 武夫

眼の怪我から戻りました。初めての手術で色々皆様・家族に迷惑を掛けました。ロータリーの仲間いいですね。ありがとうございます。

平林 英一

連休ただただ中、いかがお過ごしですか。さて、次年度計画書は来週9日までです。各統括理事さんは計画書の提出をお願いします。平林さん、良かったです。田中 雅昭

初投稿です。駄作で失礼しました。

清水 幸平